

## 社 報



## 景気回復の気配が・・・

## 2006年安全方針

仕事の前にまず整理！  
仕事終わってもまた整理！  
整理不足がミスを生む！

人はミスをする動物です。  
いくら気をつけててもミスを  
しでかします。

いくら整理をきちんとして  
も間違ってしまうです。

まして、整理もしていなけ  
れば、どういうことになるか？  
恐ろしいです。

## 謹賀新年



今年もよろしく  
願います



有効求人倍率や株価の上昇な  
ど、各所で景気の回復が見込ま  
れています。

バブル景気が崩壊してから、長  
く暗い不況のトンネルからようやく  
脱出できそうな気配が見えてきま  
した。大変に喜ばしいことです。

当社の大のお得意先である、清  
水建設様でも受注案件が確実に  
増加しつつあるようで、協力業者  
には施工体制の拡充を求められ  
るようになってきました。

これも大変良い傾向です。  
しかしながら、景気回復は良い  
ことですが、締める所を締めてお  
おかないと、その後遺症に苦しむ  
こととなります。

十年少し前に経験したバブル景気  
の後遺症でどれだけ長く苦しむこ  
とになったか、それを忘れてはな  
りません。

景気が回復したからと言って、  
それに浮かれてしまわないことが  
重要なのです。

景気回復による業績向上は、自  
らの力で得たものではありません。  
好景気の下では、ほとんどの企業  
が業績を向上させるからです。  
業績が良くなったと言っても、他の

企業はもっと業績を向上させて  
いるかもしれません。

もし、そんな状態で景気の下  
降局面を迎えようものなら、あっ  
という間に大きな打撃を受けて企  
業は淘汰されてしまいます。

景気回復局面では、単純に業  
績向上を喜ぶのではなく、他社と  
どれだけ差を作れるかを基準と  
しなければなりません。

企業活動が楽になることはあり  
得ません。好景気でも不景気でも  
いつもいつも競争し続けねばなら  
ないからです。

この経済競争と言う、不変の真実  
を好景気下では忘れてしまいがち  
になることが恐ろしい訳です。

景気回復は、まだまだ本物では  
ありません。明るい兆しは、いま少  
し確実性を確認する必要があります。  
好景気の到来が現実になって  
くると、好景気下では、努力が報  
われやすくなりますから、それぞれ  
が楽をしようとせずに、おおいに  
働いて業績向上を実現していこう  
ではありませんか。

最後に、今年一年が皆さんにと  
って良い年になりますように、ご祈  
念申し上げます。

社報は当社ウェブサイト(ホームページ) <http://www.forbuild.co.jp> に掲載中！

## 休業災害ゼロを達成！

やりました！やりました！  
ついに悲願の休業災害ゼロを達成  
いたしました！これこそ現場の皆さん  
に努力いただいた成果です。  
一年間、本当にご苦労様でした。

安全統計を取り始めて12年、やっと  
休業災害ゼロとなりましたが、これが

たまたまの結果ではなく、当社の  
現場安全管理のレベルが向上した  
結果であることを示すためにも、  
今年も2年連続で  
休業災害ゼロを  
達成しましょう！



## 2005年 安全成績(確定)

現場災害 H17.1.1-H17.12.31	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 4
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 4
交通災害 H17.1.1-H17.12.31	
人身災害	----- 1
物損災害	----- 1
合計	----- 1